

保健だより 11月号



葉っぱの色が赤や黄色へと美しく色付き始めました。落ち葉を拾う子どもたちも秋から冬への移り変わりを感じているようです。冬に向けて心も体も元気に過ごせるように、かぜ予防はしっかりと行いましょう。10月はもも組でRSウィルス感染症が流行しました。発熱や咳、鼻水等の風邪症状が見られた際は早めの病院受診をよろしくお願いいたします。



こころづかいと病気の子どもへの対応の仕方



環境を整えましょう。部屋の温度は20℃位で湿度は50～60%位が過ごしやすく適切です。衣服については、子どもは体温調節機能が未発達のため、外気温の影響を受けやすく、また自分で衣服の調整ができてにくいので、気温の変化に合わせて調節しましょう。食事については、食欲がない時は、量を減らして回数を多くしましょう。子どもの体はおよそ7割が水分を占めています。そのため脱水になりやすく水分補給に気をつけましょう。皮膚の清潔は病気の時であっても清潔を保ち感染防止をしましょう。

子どもの病気により、家族や周囲があわてたり、大げさになったりしやすくなりますが、甘やかしすぎたり、神経質になったりしないで、普段どおりに生活しましょう。症状によっては安静が必要ですが、医師の許可の範囲で遊ばせましょう。からだを使つての遊びが出来ない時でも、何か楽しいことを一緒に考えるようにして、気持ちをいきいきとさせることが大切です。遊びも生活の一部とし、のびのびと過ごさせた方が、回復が早い場合があります。



内科検診のお知らせ

日時 11月27日 13時から

全園児対象

当日は体調不良以外の人は、出席をお願いします。欠席されますと、園医の佐藤医院へ電話予約後、受診をお願いいたします。

